

事業名	補助砂防事業(通常分)	路線名等	青蓮寺川 小田谷
箇所名	曽爾村掛		

事業の概要	目的	【奈良県土砂災害対策基本方針】Ⅱ：代替性の無い避難所の先行的保全 土石流対策の砂防堰堤を整備し、地域防災計画に位置づけられた避難所を保全する。			
	事業内容	工種：砂防堰堤工(不透過型堰堤) 保全対象：掛農業集会所、高照寺、人家4戸、県道名張曽爾線155m、村道130m			
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成28年度	全体事業費 230百万円

定性的評価	事業の必要性	当該箇所は奈良県中部の曽爾村に位置し、保全対象には曽爾村の避難所(掛農業集会所)があり、土石流が発生した際には、避難所(掛農業集会所)に多大な被害を与えるため、早期に対策を実施するものである。
	上位計画等	奈良県土砂災害対策基本方針
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	【費用対便益】 B／C＝ 【便益に計上されていない効果】 ・代替性のない避難所(掛農業集会所)を保全することにより、土砂災害の危険度が高まった際に周辺住民に対して安全な避難所を提供できるようになり、地域安全度向上を図れる。 ・県道名張曽爾線の途絶に伴う迂回車両の増加による温室効果ガスの増加、迂回路の損耗。 ・県道名張曽爾線の途絶に伴う災害時の復旧遅延。 ・森林の造成若しくは維持を図れる。 ・1級河川 青蓮寺川への土砂流出に伴う周辺集落の浸水被害防止。
	コスト縮減への取り組み	
	地元情勢等	①平成22年1～2月 ヒアリングにより市の担当部局に土砂災害対策基本方針(案)について説明。 ②平成24年10月 曽爾村役場の担当部局に協議の結果、土砂災害対策の重要保全施設との回答を得る。
	他計画他事業との関連	

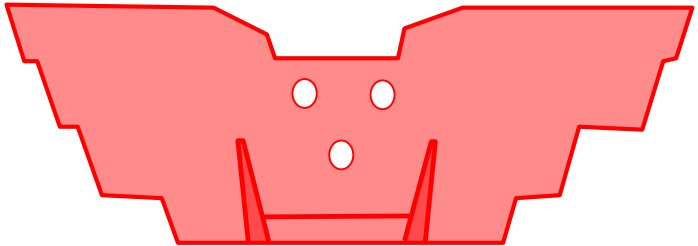
評価結果	左の理由
採択 (付帯条件付き)	奈良県土砂災害基本方針に基づく事業であり、緊急性も認められるため採択とする。 ただし対策範囲については地区全体ではなく、奈良県土砂災害基本方針に基づいた変状・前兆現象・代替性のない避難所・24時間入居している災害時要援護者関連施設の保全及び避難計画等に必要最低限の範囲とする。また、施設移転についても継続的に協議を行うこととする。

位置図

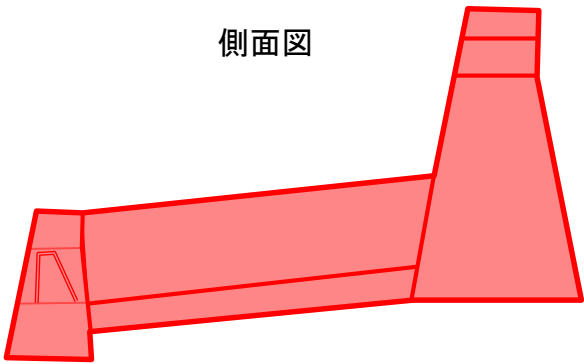


この地図は国土地理院の5万分の1を転載(奈良県道路網図平成23近複第71号)

正面図



側面図



保全人家



高照寺



掛農業集会所(避難所)